

緑の相談

Q & A

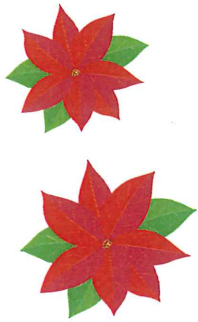
Q

冬越ししたポインセチアの株は、春以降どうしたらよいのでしょうか。

A

無事に冬越しした株は、5月に入るところから日当たりのよい戸外に出します。気温が上がってくると、盛んに成長します。そのままではすぐ根詰まり状態となりますから、戸外に出すときに植え替えをしておきましょう。

鉢から抜いた根鉢を3分の1ほどくずし、傷んでいる根を整理して新しい用土で植え替えましょう。植え替えた株は、十分日光に当てて育てますが、そのままだと丈が高くなり、枝も伸びすぎてしまうので、8月中旬〜下旬ごろに、茎や枝を思い切って短く切り戻します。ここから秋になって伸び出す各枝先に、花芽ができてくるので、どの程度の株姿に抑えるかを検討して切り戻しをしてください。室内に取り入れるのは10月下旬ごろです。



春の植え付け

各枝とも3分の1〜2分の1に切り戻す
根鉢の3分の1ほどくずす



用土は赤玉土・腐葉土が7:3ほど

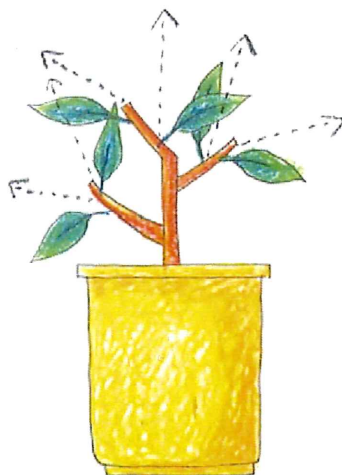


夏の切り戻し

8月中旬〜下旬ごろに茎や枝を思い切って短く切り戻す



秋口から伸び出した枝に花芽をつけさせる



(井頭公園緑の相談所)

コレやってみよう！

葉脈標本をつくってみよう

植物の葉を太陽にかざしてみると、網目やすじ状の模様が見えます。これが葉脈で水や栄養分の通り道です。葉で葉を溶かしても残りやすい部分です。葉脈だけになった葉は植物によって特徴があり、飾りや葉にするとすてきな標本になります。家庭にあるものでつくることができません。やってみましょう。

準備するもの

- 標本にする葉
（作製には、ツバキやヒイラギなどの葉が厚く固いものが適している）
- 鍋（アルミの鍋は使用しない）
- 重曹
- 手袋
- 歯ブラシ等



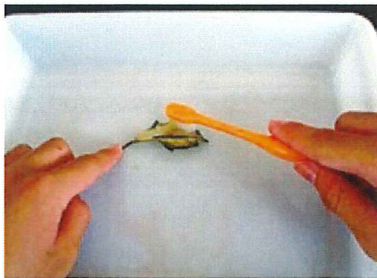
作り方手順

1 水500gが沸騰したら、弱火にして50gの重曹を入れ、よく溶かして10%濃度の重曹液を作る。

2 重曹が溶けたら葉を入れ弱火で30〜60分程度ゆでる。葉が浮くので時々裏返す。

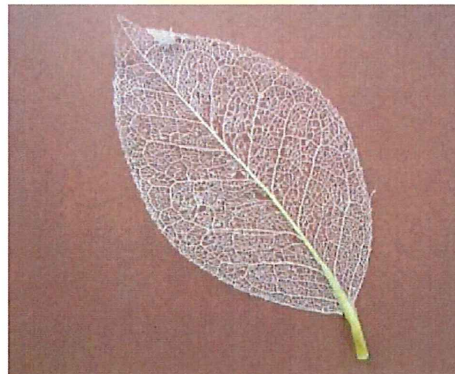
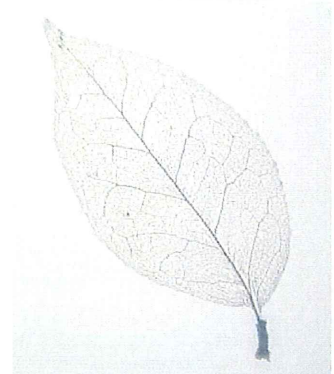
3 時間になり湯が茶色くなったら、葉を取り出し、水でよくすすぐ。

4 ポリエチレンの手袋をして手でこすったり、歯ブラシで軽く叩くようにしながらこすると葉脈以外の部分が取れる。取りにくいときはさらに少しゆでこみる。



5 水洗いし、乾けば葉脈標本のできあがり。

6 葉脈を染色する場合は、漂白剤で脱色し、その後、インクや食紅などの液に浸して着色する。その後、水洗い、乾燥する。



今回は重曹を使用しましたが、重曹の代わりにパイプ洗浄剤を使用することもできます。ぜひ試してみてください。なお、これらの薬品の使用にあたっては取り扱いに十分注意してください。
葉などにする場合は、パウチや本の保護用の接着剤付きビニールカバーなどで圧着保護してください。

（井頭公園緑の相談所）